

様式1 令和3年度 山梨県立山梨高等学校定時制評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	1 基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、自ら学ぶ力の育成を目指します。 2 基本的な生活習慣の確立を図り、学業と仕事を両立させることのできる生徒の育成を目指します。 3 自分を思う豊かな人間性と社会性を培い、協働して物事に対応できる心身ともに健やかな生徒の育成を目指します。 4 望ましいキャリア観を育み、適性と希望に応じた進路実現を目指します。 5 保護者及び地域や生徒の就業先から信頼される学校づくりを目指します。
-----------	--

山梨県立山梨高等学校校長 小尾 きよこ

本年度の重点目標	1 知る喜びや学ぶ楽しさにつながる授業を実践し、基礎・基本の定着を図ります。 2 基本的な生活習慣と社会性を身につけ、家庭・地域社会と連携し、将来自立できるスキルの習得を目指した指導に取り組めます。 3 ささまざまな学校行事を通して豊かな心の育成に努めるとともに、安心して楽しく学べる学習環境づくりを行います。 4 企業及び上級学校等の見学や各種講演会を通してキャリア観を育み、一人ひとりの適性にに応じた進路実現を図ります。 5 ホームページや学校通信等を活用し、学校の教育活動について積極的に情報提供を行います。
----------	---

達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)
	B	概ね達成できた。(6割以上)
	C	不十分である。(4割以上)
	D	達成できなかった。(4割以下)

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

本年度の重点目標			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	知る喜びや学ぶ楽しさにつながる授業を実践し、基礎基本の定着を図る。	家庭学習を習慣化させるための授業の展開。	生徒の学習課題提出状況、アンケート
		授業改善につなげるための生徒向け授業アンケートの実施。	授業アンケート
		国語・数学・英語で実施している少人数授業やチームティーチングの成果の検証。	授業アンケート・生徒アンケート
2	挨拶の励行、時間を守る、掃除をしっかりする等の社会性を意識した生活習慣や意識の確立を目指した指導に取り組む。	基本的な生活習慣確立のための、遅刻・欠席等への積極的な指導	三者懇談・生徒アンケート
		挨拶や清掃等に取組む教師の率先垂範による、生徒の意識を向上させる指導。	生徒アンケート
		いじめアンケートの定期的な実施と、細やかな観察と指導による「いじめ」根絶への対応。	いじめアンケート
3	さまざまな学校行事を通して豊かな心の育成に努めるとともに、安心して楽しく学べる学習環境づくりを行う。	生活体験文作成及び発表会や各種体験活動などおして、自己をふり返る機会を設けたり、豊かな感性や心の醸成に努める指導。	生徒感想文・生徒アンケート
		生徒会行事などを通して、コミュニケーション力や豊かな心を育む指導。	生徒感想文・生徒アンケート
		地域や専門家といった外部人材を積極的に活用し、教員の働き方改革につなげる。	教員アンケート
4	企業及び上級学校見学や各種講演会を通してキャリア観を育み、一人ひとりの適性にに応じた進路実現を図る。	キャリア見学会、キャリア体験事業、キャリア講演会等の実施によりキャリア意識を高める。	生徒感想文・生徒アンケート
		進路講話や個人面談による生徒個々の進路希望に沿った進路情報の提供。	学年に応じた進路情報の提供
		進学・就職希望者に対する作文・面接指導の実施。	作文・面接指導の実施
5	HPや学校通信を活用し、本校に対する保護者や地域の理解を深める取組を実施する。	HPや学校通信による情報発信。	生徒及び保護者アンケート
		保護者の来校機会を増やすための公開授業や公開行事等の実施。	保護者アンケート

年度末評価(1月19日現在)		
自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
授業に関しては、良好な評価が出ている。しかし、生徒自身家庭学習が十分ではないと認識している。課題や提出物については、期限を守って提出している。少人数授業やチームティーチングについては、より成果が上がるよう授業法について研鑽していくことが大切である。	B	家庭学習の習慣ができていない生徒が少ないので、家庭において学習するよう授業を通して指導をさらにしっかりとしていく必要がある。
遅刻・欠席が多いと自分でも思っている生徒がいる。基本的な生活習慣の基礎となる遅刻・欠席を減らす指導を継続して行っていく必要がある。「いじめ」根絶への対応については、高い評価を得た。	B	多くの生徒がアルバイトをしており、アルバイト終了後投稿直前まで睡眠をとっている生徒もいる。家庭との連携・協力を強化し、学校生活がしっかりと送れるよう指導を継続していく必要がある。
本校に入学してくる生徒は、中学校時代不登校だった経験を持つ者が多く、集団で行動することが苦手だったり、外部とのつながりが希薄だったりする。そのため、学校行事は、全学年一緒に体験を重視した内容で行っている。体験型の行事全般に高い評価を得ている。	A	普段は消極的な行動が多い生徒も、体験型の行事とある程度活動的になる。特に異年齢集団の中で、自分の役割を考えられる機会は大切にして社会性が身につくようにしていく必要がある。
キャリア教育は、見学会・講演会等様々な形で実施している。企業や専門学校見学は生徒の関心も高く、担当者の説明もわかりやすく高い評価を得た。作文・面接指導も生徒一人に複数の教員が当たって指導した。	A	書くことに苦手意識を持っている生徒が多い。そのため、行事ごとに内容のまとめや感想を文にする指導を引き続き行い、就職試験に備えられるようにしていく必要がある。高校卒業後の進路を考えることができるよう、キャリア教育を実施していく必要がある。
情報発信の手段として、ホームページと学校通信の二本立てで行っている。保護者に閲覧してもらえることが大切である。	A	発信する内容も充実させ、意識して閲覧してもらえるようにしていく必要がある。

実施日(令和4年2月17日)	
評価	意見・要望等
4	全体的にきめ細かい取り組みがされていると思う。評価結果の分析もしっかりされているので、期待が持てる。
3	生徒は落ち着いた生活を送っているように見える。コロナ感染予防のためマスクをしているが、あまり声を出さないような感じがする。引き続きあいさつの大切を教えていってほしい。
4	学校を愛すること、地域を好きになること、仲間を大切にすることのできる生徒を育成してほしい。地域の清掃活動なども取り入れたらどうか。
4	キャリア観を育むさまざまな活動は、すばらしいと思っている。企業や専門学校の見学会を積極的に行って、将来を考える機会の提供に努めてほしい。
3	学校の様子をホームページだけでなく、インスタグラムなどで常に見ていただけるような工夫も必要かと思う。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。  
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。